



Since 1937

CEF ニュース

No.157 2025. 春号

(1)

このように、この小さい者たちの一人が滅びることは、天におられるあなたがたの父のみこころではありません。マタイ 18:14

「大切な五つのこと」



安田 豊

2025年、今年も日本 CEF が子どもの救いと成長のために熱心に主と教会に仕えられるようお祈りください。

アメリカのオーバーホルツァー師によって始められた CEF の働きは、約 100 年後の現在、世界の 200 の国と地域で進められています。最近、私はオーバーホルツァー夫人によって記された「聖書・神さまのみことば」という小冊子を読み返しました。日本では 1952 年（私はまだ生まれていませんでした！）に出版され、今は残念ながら絶版です。その小冊子で夫人は、聖書は神のことばであり、神のことばに親しむことがとても大切であると子どもたちに教えています。最後の章では、子どもへの聖書の大切な教えとして、指を折って覚えることができるように 5 つのことばが書かれていました。それは、「来たれ」「生きよ」「献げよ」「祈れ」「行け」です。それは子どもだけではなく、私やあなたにも重要なことばです。

最初は、「来たれ」です。聖書は初めから終わりまで「来たれ」と何度も語ります。罪と滅びからの救いの道はただ一つ、イエス・キリストの十字架と復活です。その主イエスのもとに「来たれ」と命じられます。「子どもたちを、わたしのところに来させなさい」（マルコ 10:14）また、悪霊にとりつかれた子どもを、「その子をわたしのところに連れて来なさい」（マルコ 9:19）とも言われました。主は子どもを「来たれ」と招いておられます。私たちはまず子どもをイエスさまのもとに連れて行き、子どもが救い主を信じるように導く使命があります。あなたは、あなたと子どもに「来たれ」と語られる主の声を聞いていますか。

二つ目は、「生きよ」です。霊的に死んでいた子どもは、主イエスのもとに来て、主を救い主と信じ、永遠の命をいただくことができます。聖書はその子どもに「生きよ」と語ります。聖霊をいただいた子どもは、神のみことばからどう生きるかを教えられて成長する必要があります。あなたは「生きよ」と語られる父なる神の声を聞いていますか。

三つ目は、「献げよ」です。父なる神さまからイエス・キリストの救いという贈り物をいただいたなら、喜んで神さまに贈り物をささげたいと願います。神さまが一番望まれる贈り物は何でしょうか？ 奉仕でしょうか？ 献金でしょうか？ いいえ、あなた自身であり、子ども自身です。神に無条件に献げられた者を神が自由にお用いになります。あなたは主が「献げよ」と語っておられる声を聞いていますか。

四つ目は、「祈れ」です。イエス様を信じるなら父なる神にいつでも何でも祈ることができます。父は子どもの声を喜んで聞き、答えてくださいます。あなたは聖書のあらゆる場面で、「祈れ」と語っておられる父なる神の声を聞いていますか。そして祈っていますか？

最後は、「行け」です。イエスさまを信じるなら他の人の救いを願い、祈り、伝える者となります。家族や友人にイエスさまを伝えに行くのです。あなたは、「行け」と言われる主の声を聞き、行く準備ができていますか？ この 5 つが、主があなたに、子どもに教えている大切なことです。指を折って言ってみましょう。「来たれ」「生きよ」「献げよ」「祈れ」「行け」。今年、あなたはあなた自身が、そして子どもが、この 5 つの段階を歩めるよう、主のもとに行き、祈り、仕えましょう。

（日本 CEF・やないグレースチャペル牧師）

CEF 世界祈禱日

2025 年の世界祈禱日は 11 月 5 日（水）です。

東北支部献堂式の恵み 高水林



主に感謝し、主に建物も働きも働き人も献げるための日本CEF東北支部の献堂式が、昨年11月23日土曜日午前10時からいわき市にある東北支部で行われた。献堂式は一部は献堂礼拝、昼食後、二部は祝会の形で午後1時まで続いた。礼拝者は68名で、そのうち韓国CEFから来日した15名も含まれる。国内からは、遠くは沖縄から、また北海道から、茨城から来られた先生方がおられる。献堂式を迎えるまで、金野正樹中央委員長を初め、中央委員の方々スタッフの、心をつなげた奉仕も主に覚えられている。



一部の礼拝では、司会は金野正樹中央委員長、奏楽は柳平夏帆元スタッフ、祈禱は北海道CEF鶴田典子協力主事、特別賛美は韓国のチョウ・ミウン姉妹「驚くばかりの(韓国語)」、献堂の経緯は高水林宣教師、メッセージは安田豊総主事代行「父のみこころ」、ビデオによる祝辞は国際本部・趙エレミヤ会長、APアジア・太平洋地区・徐サムエル主事、フレッド田中宣教師夫妻、祝辞はグローバルミッションチャペル森章師、祝禱は説教者であった。

礼拝後、照沼光男中央委員の食事のお祈りが終わると、膝の上にお弁当を乗せた状態で昼食をいただき、二部の祝会に続いた。司会は田中義敏中央委員、祈禱は沖縄共生エルシオン教会の新川代利子師、特別賛美は兄弟団石岡教会の丹家倫子姉「救い主は待っておられる」・韓国CEFチーム「誰も見たことのないことが」、伝道者の証しはいわきキリスト教会の尾田イネ姉「玉川GNC子ども会」、祝辞は韓国CEFチャン・サンファン中央委員長・韓国CEFベク・ハンフム海外宣教師長・福島第一聖書バプテスト教会の佐藤彰師、祝会の結びの祈禱は福島第一聖書バプテスト教会の佐藤将司師であった。

出席者の車は25台の予想であった。近所の駐車場を歩き回って借りようとしたら4か所で断られた。でも、断られたのが幸いであった。なぜなら、それは一番近い所に導かれるためであった。主は良いお方である。東北支部の斜め前に空き地があるのを散歩中に見つけて、前の家の協力を得て、ある会社の資材置き場である空き地を借りることができた。主は人の思いをはるかに超えて一番よくしてく

てくださった。これからのことも主がなさることが確かである。主がご栄光のために働かれることを信頼する。

お祈り、祝電、果物、お花、献金、献品、祝福のことばなどで、心をつなげてくださった方々にも感謝します。私たちはこれからも心をつなげて献げられた特別賛美のようにいつまでも主をほめたたまえましょう！「誰も見たことのないことが/今この地に起こる/誰も聞いたことのないことが今起こる/祈りは聞かれている/呼び続けよう/主のなされる/みわざを伝えよう/荒野には道を/荒地には川を/新しいことが/今この地に起こる」



韓国CEFチーム

最後に東北支部の隣人の渋谷姉(福島第一聖書バプテスト教会)からの感想を載せます。

「献堂式には遠く韓国からたくさんの方々に来てくださって、祝福をお祈りして下さる姿を見て、東北を、福島をどんなに愛して下さっているかをひしひしと感じました。歴史的にいろいろと思うところがある日本を、こんなに大事に思っ下さる、まさにみことばの力、神様の臨在を実感しました。また、この東北支部がたくさん祈りの中で生かされていることを感じました。」

ビデオによる祝辞



CPC(クリスマスパーティークラブ)の証

2024年は108ヶ所でクリスマス・パーティー・クラブ(CPC)が開かれ、532人の子どもに福音が伝えられ、143人が救われました。お証しの抜粋をお分かちします。

★当日風邪などでスタッフや常連参加者が来られなかった中、チラシを見て近隣の方々が来てくれたのが嬉しかった。初めて聖書の話聞く方ばかりで大事なポイントが伝えられたかは疑問。メッセージが長くなるとお互い集中力を欠くので、そこが今後の課題。始める前の賛美練習の時は歌わなかった3年生の男の子2名が、メッセージの後、大きな声で歌ってくれたのが嬉しかった。招きにも殆どの子が手を挙げた。久しぶりだったのでドキドキしたが、教材の助けもあって何とか伝えられた。(N.K.)

★未信者である家族、孫たちとクリスマス話と賛美をすることができ、神様に感謝した。(K.O.)

★工作でステンドグラスを作り教会の窓に貼った。今回の視覚教材に、昨年までのCPCの教材を併用して話した。中学生はヨハネの福音書1章と関係づけながら話した。(T.K.)

★児童養護施設夕礼拝にて実施。制限時間内に、十字架の教材を使って短くまとめて話した。招きで3名手を挙げたが、最後に話をきいたら信仰決心とは違った。そこには、35名ほどの子どもたちがいて、今までに信仰決心した子どもたちもいる。引き続き関わっていくことを願っている。(C.K.)

★救いの招きをしたが、まだよくわからないと言った。無理して告白せず、ゆっくり焦らず、主の時に子ども2人が告白できるといいと願う。(M.O.)



★近所に引っ越してきて、二年前にイエスさまを信じた、小3の男の子と、今回初めて同級生の男の子が来てくれた。また、近所の年長女子と年少男子と母親が、一年ぶりぐらいに来てくれた。また、地域に配布した案内を見て、近所の幼稚園に行っているご家族(母親、年中男子、10ヵ月)も来てくれた。CPCはとてもよく祈り備えられた教材で、全体的にコンパクトにして、いのちのこぼれをお届けすることができた。子どもたちが自発的に、アイスブレイクのときにしたゲームをしたりして、次に繋がるようなあたたかい集いを持つことができた。(N.H.)

★教会で子どもクリスマス会を行い、CSの子どもたちと地域の子どもたち合わせて33名(未就園児～中学1年生)が参加。テキストにある飾りを使って、ブックマーク作りを楽しんだ。テキストは初めての子どもたちにもわかりやすい内容だった。小1から中1までの5人の子どもたちが、イエスさまを救い主と信じた。(H.K.)

★最近教会に来て信仰を告白した小学生2人に改めてクリスマスの意味とイエス様の救いについて教材を使って話した。二人とも興味深く真剣に話を聞き、更に信仰を強めた。(A.M.)

★参加して下さった保護者の皆様や、御言葉を覚えて発表した児童達が神様と良い出会いがあることを祈り願いつつ終えた。背後の皆様方の篤いお祈りと素晴らしい台本を心から感謝。(N.N.)

★開始時間が近づいても誰も来なかったので外に出て、公園で遊んでいた子ども3人に声をかけたら参加してくれた。視覚教材が見つからず、しどろもどろでお話をしたが、一人の子はイエス様を信じたいと手を挙げたので祈りを導いたところ、3人とも後について祈った。時間が足りずその後のフォローができなかったのが残念。準備不足にも関わらず子ども達と、協力者もお与えくださった主のご真実に心より感謝。(H.F.)

★小学1、2年生くらいの子2人とお話をした。罪について話したところで、1人が「遊びたい」と言った為、終了。もう1人の子は、一生懸命聞いていたので残念だったのだが、2週間後、その子たちと再会し、最後まで聞いて、信じるお祈りまでできた。神様が、お話を聞きたかった少年を覚えてチャンスをもう1度与えてくださったことを本当に感謝した。この日は小学5、6年生の大きな男の子6人と女の子が1人。声をかけると、喜んで集まって来て、不思議な位、静かにお話を聞いてくれた。イエス様の話は初めて。最後の招きにも全員が手を挙げ、一緒にお祈りすることができた。今回の教材は、とても使いやすく、子供たちも「うまいことなってるやん」と言いながら興味を持って聞いてくれた。何度も何度も家で喋って、短くまとめて練習をして本番に臨んだ。特に公園ではちょっとしたことで集中力が切れるので、立て続けに興味深く話すことが大切だと教えられた。(T.M.)

★教会のキッズクリスマスで2日間実施。インフルエンザ等で2日間とも予定の半分の参加人数だったが、招きに全員が応じて感動的だった。CEFのトラクトで個別に確認もでき、お祈りまでできた！いちばん感動したのは、1回目のクリスマス会で救われた子が2回目のときに学校の友達を誘って来てくれたこと。そして、2回目までの間にその子が個人伝道をしていたということ。CEFの教材と研修のおかげで自信を持って伝道に臨めた。(A.Y.)

★今年も年末年始にかけて、CPCの教材を使用して、福音宣教の奉仕ができたことを感謝。3回にわたり集会を実施した。(M.J.)

★信じる子どもは多いが、親の許可や教会との距離の問題で、教会と結びつくことが一つのハードル。教会の方々に子ども伝道の大切さを訴えた。CS教師の一人がママ友と子どもたちに伝道しようと思いがわいているようで、嬉しい。(Y.I.)

(4)

★受洗後の信仰生活が消極的な方との聖書の学びをしていて、その方のお子さんのために小さなクラブをしている。今回、招きを出した時、その方は「今、信じなくていいの！ゆっくりでもいいの！」と引き留めたが、お子さんは自分の意思で救いを受け入れた。その後、その子は毎日聖書を読むようになり、未信者の父親が聖書に関心を持ち始め、そんな二人を見て、その方も変えられてきている。今回、一番開催したかった所に断られたが、予想しない方から「是非我が家で」とお声がけ頂いて開催。教会員のお孫さんと、その友人親子さんたちが参加。招きに応じる方はいなかったが、皆、熱心に聴いていた。教会員の子供（3歳）で、まだ福音を聞いていない子に、マジックパズルをした。(K.M.)

★今回の、光という神様であり、救い主である方を子ども達に話しをするためにとても時間をとって準備をした。自分が納得して感動して練習して、初めて子どもの前で話しができると思った。子ども達はしっかり話しを聞いてくれて感謝。(M.Y.)

★1回目はサマースクールに参加した6年生と3年生の兄妹。既に信じていて、今回トラクト「きみへの約束」を使って個別で確認し、救いの確信を持つことができた！その後、学校でお友達に伝道し、そのお友達をクリスマス会にも連れて来てくれた！2回目でも、まだ信じていない4人の子ども達みんなが招きにに応じて、個別で確認して全員が救われた!! (T.O.)

今年のCPC教材は

「逆さまの誕生日パーティ（仮）」



2025年イースター準備会

今年のイースター準備会ではフラッシュカード教材「やっと信じたトマス」を使って、子どもが疑いを捨てて、信仰を強く持つことを教えます。下記の日程で開かれます。どなたも参加できます。

対面

- ▶3/4 (火) CEF本部 (茨城県小美玉市) 10:00-12:00
- ▶3/8 (土) 東北支部 (福島県いわき市) 10:30-12:30
- ▶3/11 (火) 中村家家庭集会 (八王子市) 12:00-15:00
- ▶3/18 (火) 淀橋教会 (新宿区) 10:30-12:30
- ▶3/30 (日) 浅川国際キリスト教会 (八王子市) 14:00-16:00

オンライン

- ▶3/11 (火) ZOOM 19:30-21:00



お申し込みはQRコードから

TCEレベル | 子どもを効果的に教えるコース

■CEF 茨城本部

- ・日時：9月15日（月・祝）～9月19日（金）
- ・受講資格：15歳以上の新生したクリスチャンで、当協会の方針と信仰声明に同意でき、牧師の推薦のある方。全日程を受講できる方に限ります。詳しくはチラシをご覧ください。



会計報告 尊い献金を心から感謝いたします



献金 (24年9月-25年1月)		収入 (9-1月)		支出 (9-1月)	
9月	1,609,960	献金	6,540,999	人件費	4,876,036
10月	872,630	謝礼	87,000	運営・管理費	3,763,117
11月	1,514,109	教材売上	167,157	什一献金	419,884
12月	1,860,400	教育部	14,000		
1月	683,900				
合計	6,540,999	合計	6,809,156	合計	9,059,037

CEF(児童福音伝道協会)は、福音を聞かずにいる子どもたちをキリストに導き、霊的成長を助け、福音的教会に結びつけるためにキリストのからだなる教会に仕える組織で、諸教会および主にある兄弟の祈りと献金により支えられ、奉仕しています。

発行日/2025年3月1日 発行/日本児童福音伝道協会 〒311-3434 茨城県小美玉市栗又四ヶ 2421-6
 No.157/2025 春号 Tel (0299)28-2031 Fax (0299)28-2028 振替 00160-1-59313
 Email japancef@cef.or.jp 株式会社 http://www.cefjapan.com